

Continue

YUTACOLOGY'S communication press

vol.29
2023 AUTUMN

エシカルの本質と
企業の取り組み

巻頭対談

『エシカルと企業の在り方』

椋山女学園大学 現代マネジメント学部 教授 東 珠実様

REPORT

第23回「安全宣言の日」を開催しました



テーマ

エシカルと 企業の在り方



昨今、SDGsとならびよく耳にするようになった「エシカル消費」。

「エシカル」の本質とはいったい何か、
また企業がどのように意識し取り組むべきか、
専門家である東 珠実教授にお話を伺いました。

エシカル消費とは何か

酒井 最近改めて耳にする機会が増えた「エシカル消費」について、日本では「もったいない」のような意味で使われているイメージがありますが本質的にはどういった意味でしょうか。

東 エシカル(ethical)とは「倫理的、道徳的」という意味があります。つまり、エシカル消費とは「消費者が自らの倫理観に基づいて商品・サービスを選択すること」です。消費者庁が「地域の活性化や雇用なども含む、人や社会、環境に配慮した消費行動」と定義づけています。

日本の「もったいない」は節約や無駄をなくすようなイメージがありますから、本質的には少し異なった言葉であると思います。

酒井 なるほど、単に率先して賞味期限の早い物から購入するかすぐに捨てず長持ちさせて使う、というような意味ではないということですね。具体的にはどういったことを指すのでしょうか。

東 例えば同じような商品が2つあるとして、より環境負荷の少ない方、フェアトレードである方を購入するということです。

人でいえば障がい者支援につながる商品、社会でいえば寄付付きの商品、地域でいえば地産地消・被災地産品などが挙げられると思います。

酒井 消費者それぞれが各自にとって社会的課題の解決やそういった取組事業者の応援を考慮しながら消費活動を行うということですね。

そもそもエシカル消費という考え方はどのように広がっていったのでしょうか。

東 珠実様プロフィール

梶山女学園大学教授。専門分野は消費者行動論、生活経営学。日本消費者教育学会前会長。2022年より同学会顧問。消費者庁第3期～第5期消費者教育推進会議会長、静岡県消費生活審議会会長ほか、地方自治体等の受任委員多数。

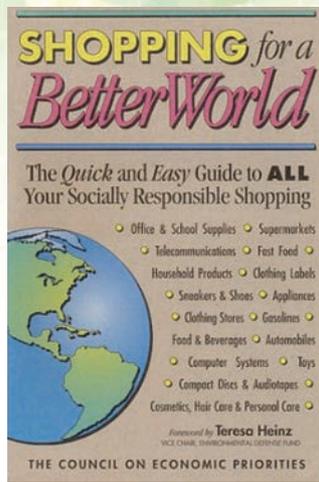
東 エシカル消費のような買い物と社会貢献に関わる歴史の起源は、1980年代初頭のアメリカン・エクスプレス社の社会貢献マーケティング(CRM: Cause-related Marketing)とされています。アメリカン・エクスプレス社のカードを利用すれば1回につき1セントを同社が自由の女神の修復代として寄付するというものでした。それ以降、CRMもエシカル消費も、欧米を中心に広がりを見せました。

一方、最近の日本でのエシカル消費の普及は、SDGs効果であると思います。SDGsは2015年に国連でパリ協定が採択され2030年までの目標達成ということでスタートしましたが、その推進のために、近年、メディアを活用した大衆への普及活動が強化され、SDGsの認知度とともに、エシカルへの理解も深まりました。大手企業がSDGsを掲げながら自社の事業と持続可能な未来をPRすることが消費者にも届いているのだと思います。

エシカルとSDGs

酒井 確かに企業目線で考えるとCRMが消費行動の後押しをしたり、過剰にサービスしていたものを辞めることでコスト減に繋がれば経営判断に大きな変化が生まれますね。

東 先進国のアメリカでは“SHOPPING for a BETTER WORLD”というエシカル商品を選択する為のガイドブックが1989年に出版されています。これは市場にある製品(ブランド)を環境・慈善事業への寄付・地域福祉活動・女性の地位向上など8つの指標で評価しており消費者が製品購入の際に参考にできるものです。エシカルの考え



SHOPPING for a BETTER WORLD
社会問題の観点から約 200 社の業績と方針を分析。2,000 を超える製品を評価している



名古屋ベルころん
東ゼミと株式会社スマイルリンクとの協働による名古屋土産として開発。展示されている学生控室も学生有志が改装に参画。学生たちは、自分の思いを形にしたり環境を主体的に改善することを楽しんでいる。

方が普及し消費者側のリテラシーが向上することで企業への影響もだんだんと大きくなっていると思います。

酒井 そのような変化は実感しています。当社は2020年にSDGs経営を掲げましたが、単なる社会貢献でなく、それをどう事業に繋げていくかを考え実践するようになりました。

東 素晴らしいですね。以前SDGsに関しての企業の講演でお話したことがあります。企業にとってはCSRとSDGsの違いが重要になっています。簡単に言えばCSRは自社事業領域外での社会貢献＝収益に直結しないことであるのに対し、SDGsは自社事業領域内＝収益に直結する＝持続可能であるということになります。

酒井 昨今、株式市場もESGに対する取組みが充実している企業が投資先として選ばれるようになってきていることも同様ですね。

「消費者のリテラシー」「企業が市場に流通させる商品・サービス」の両輪がバランスよく成長していかなければあるべき社会というのは達成されませんね。

東 ユタコロジーさんが実践されているように今の事業内容に関して目線を変えてみたり深く自己分析することで新たな価値を創られたりすることは非常に大切だと感じます。また、それと同じくらいその取組みを外部へ発信することも重要ですね。

新時代での企業の在り方

酒井 貴学に通われている学生の方々はエシカルやSDGsについてどのように認識されていますか？

東 学生たちはエシカル・SDGsネイティブと言ってよいかもしれません。その基準が当たり前になっている学生も多く、報道番組でSDGsの活動家としてコメントをしている方をみても若い方が多いですね。学生たちも、例えば、就職活動をするときは女性の従業員比率や管理職比率を注視します。働きやすい環境か、勤め続けられる環境であるかを見極めるための大事な指標になっているようです。

酒井 日本企業の考える社会貢献は環境に対する取り組みを中心としたものが多かったですが、人権や労働環境の分野についてはなかなかイメージしづらい現状がありますね。

東 人権については特に文化的背景が影響していますね。日本がいわゆる多民族国家ではなく、差別に対して実感する機会が相対的に少ないことも影響しているのかもしれない。

また、課題への取り組み方がイメージしづらいときは「どのような社会になれば自分にとって快適で得になるのか」とシンプルに考えることも必要です。「情けは人の為ならず」ではないですが、良い環境や良い社会ができれば、結局は自分にも還元されます。

酒井 なるほど。確かに、そんな社会になれば自分も得をするのだと気づけば自分事で考えられるようになりますからね。

東 そうですね。そして、SDGs時代の企業は、中長期的な経営の方針や具体的な事業を決定する際、トップダウンというよりも、社員間のコミュニケーションにより組織の特色を出しつつ「あるべき社会」を語り合いその価値基準を経営に反映していると感じます。

酒井 社会性を大切にしながら、「自社らしさ」を皆で創造して、経済性も追求してゆくということですね。本日はとても勉強になりました。



～対談を終えて～

良いサービス・商品を提供できることだけでなく、すべてのステークホルダーから共感される企業になることが、これまで以上に重要になると感じました。ご縁に感謝いたします。ありがとうございました。 酒井秀京

第23回

「安全宣言の日」を 開催しました



ユタコロジー株式会社



安全宣言の日

8月22日、第23回「安全宣言の日」をサイプレスガーデンホテル（名古屋市中区金山）にて開催しました（参加：当社19名、協力会社10名）。

平成12年8月22日、高所作業（3階）からの転落事故を発生させてしまったことから、当社では重大事故を二度と起こさないことを目的に、毎年8月22日前後に開催しています。

今回、主要な10社の協力会社様にも参加いただき、3大安全運動（TBM/KYの実施、指差呼称、声掛け運動）、安全啓発に関する情報を発表、共有しました。



当社ユタコロジーは、災害ゼロを目し、安全方針「安全はすべてに優先する」を掲げ、安全行動指針として、安全三大運動①TBM・KYの実施、②指差呼称確認の実行、③声掛け運動の励行に努めています。

また、安全や防災の基本対策である5S活動や、スピーディーな報連相確認を重要行動指針として仕事の実務の中に取り入れ、お客様に安心してお仕事をご依頼して頂けるよう、協力会社各社様と協力し合いながら安全文化を高めて参ります。また震災等に備え、BCPの和を広げていきたいと考えておりますので、引き続きご指導の程宜しくお願い致します。

代表取締役 酒井秀京

会社生活で一番悲しく残念なのは、労働災害と自殺です。特に自殺は関係者に及ぼすショックが激しく、後々まで尾を引くものです。以前、同僚を自殺で亡くした経験があります。彼が亡くなる前の数日間を思い返すと「おかしい、いつもとは違う」という、後になって気づく違和感、彼の発するメッセージがありました。

「いつもと違う」ことを少しでも早く感じる事が、事故や自殺の未然防止につながるのではないかと考えます。

顧問 西村文宏



【協力会社紹介】自己紹介と安全事例紹介

（事例）夏の熱中症対策/事故の防止と起きてしまった際の行動/環境配慮型の廃棄物処理
高所作業時の安全点検方法/従業員に何かあった際の補償拡充 等

参加協力会社

1. 株式会社RCAテクノサービス
2. 株式会社エンカウンター
3. 環境サービス株式会社
4. 有限会社昭明クリーナー
5. 有限会社昭和装備
6. 有限会社ソウビクリーナー
7. 株式会社パートナー
8. ファルコン株式会社
9. 株式会社プロマジック
10. ライノセラス総業株式会社



安全標語、ヒヤリ・ハット事例表彰

社内で募集し多数の応募があった安全標語、ヒヤリ・ハット事例で、いずれも各5名の受賞者を発表。
各最優秀作品は、当社代表作品として社外コンテストへ応募されます。



安全標語最優秀賞

※応募者数58名作品数76作
クリーンクルー 野々山宏美

安全は 皆が主役 指差し呼称



ヒヤリ・ハット事例最優秀賞 ※ヒヤリ・ハット事例 応募数45名・作品

クリーンクルー 鈴木訓子

どこで	いつ	どうした	原因	対策
トイレ 清掃中	小便器清掃後に、座位から立ち上がる時	小便器の手すりに頭を強打してしまった。	清掃に夢中になってしまい、手摺の存在を忘れてしまい日を変えて3度も頭をぶつけてしまった。	何をするときも、次の動作に移る時には頭を上げ周りを見ることが事故・物損の防止につながると思います。周囲の確認をしながら行動したいと思います。



ヒヤリ・ハット事例社長賞

クリーンクルー 赤尾正博

社長コメント

作品の点数に加え、日頃の業務の中で自身のDIYスキルを活用しお客様のお困り事を解決している実績を評価します。

どこで	いつ	どうした	原因	対策
日本ガイシ C5棟通路	モップがけをしている時	後方から歩いてきた歩行者に気付かずモップの柄で引っ掛けそうになった。	意識が足元に集中しており後方確認が不十分だった。	後ろには人がいることを常に意識し、時々後ろを振り向き確認する。

各部門長講話

ユタコロジーはこの「安全宣言の日」の状況報告、情報共有をもとに、より一層、日々の業務における安全の徹底に努めてまいります。



業務部長
永田 圭司



ISO14001、なごやSDGsグリーンパートナーズ優秀賞受賞、愛知CO2削減マニフェスト2030、SBT取得等取組み紹介。剥離廃液処理と石綿含有建材の調査に関する制度確認。

業務G
グループ長
祖父江和貴



業務Gの安全対策と5S活動。
(本社外報5ページで紹介)

総務部長
久米明日樹



5S委員会報告。BCP策定中間報告と社内DXの状況、ユタコロジー公式YouTubeアカウント設立。デジタルを用いての運営体制構築と安全対策を目標に掲げる。

FM事業部長
市川 雄一



直近1年の事故・クレーム報告。直近の通勤災害(交差点内の自転車(自社クルー)と自動車(相手)との衝突事故)について。発生原因と対策の説明。

CSV事業部長
栗原 武



協会会社へコンプライアンスの徹底をお願い。当社の依頼案件には様々な法律が関係する。知識を高めつつ法の要件を満たす業務遂行の徹底をお願いします。

業務部業務グループの 5S活動報告

「安全対策の基本は5S活動である」という考えのもと、業務グループでは、今年以下のような取り組みを行っています。



✓
整理
(無駄なし)

✓
整頓
(すぐに)

✓
清掃
(点検)

✓
清潔
(快適さの維持)

✓
しつけ
(チームワーク)

5S項目	新しい・強化した取り組み
整理(無駄なし)	不具合のあるもの、不要な資材の破棄。 資材在庫の見える化と記録の徹底の改善をした。
整頓(すぐに)	取り出しやすいように、使いたいときに使えるように棚・保管庫での配置を変えた。 
清掃(点検)	<ul style="list-style-type: none"> ・使用・耐用期限を記載した資材リストを作成し在庫管理を行った。 ・安全や環境配慮に関する法令順守のため各種作業手順を見直した。  <p style="text-align: center;"> チェック表 作業手順表 資材リスト </p>

<p>清潔（快適さの維持）</p>	<p>資材管理に関する責任者を配置し定期点検を実施</p>
<p>しつけ (チームワーク)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・不定期であったヒヤリハット事例共有を朝礼で毎日実施する運用を開始。 ・サービス・品質向上のため社内イントラへの月2回の技術・気付きの情報発信を開始した。 ・愛知県ビルメンテナンス協会主催の講習会で講師を担当（祖父江G長） ・社員・クリーンクルーに対する安全・技術の出張教育を定期実施。 <p>例：ポリッシャーの使用方法</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>講師資格証</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>出張教育</p> </div> </div>

今後のビジョン

2024年からはInstagramの会社アカウントにて安全への取り組みを発信予定です。
ユタコロジーの安全、品質を伝播し、一層、お客様そして社会に貢献していきます。



ISOサーベイランス報告

サーベイランスを今年も実施しました。
認証機関からの指摘については「充実事項」1点、「観察事項」2点でした。
今後も改善活動を続けて価値を高めてまいります。

2024年10月10日

2024年10月10日

ユタコロジー株式会社
代表取締役 祖父江 正江 様
【A306-401230】

審査報告書
(EMM(サーベイランス))

一般財団法人 トナーラボ
システム審査登録センター

〒460-0011 愛知県千代田区富士岡3-1-1
TEL: 03-5211-0008 FAX: 03-5211-0994/0998

作成	審査チームリーダー 関根 雅志	承認	
編集	審査官 関根 雅志	再発注	
承認	審査官 関根 雅志	受領	

1/18

荒木さん「円熟味」取材報告

中部経済新聞に毎月1回連載される企画コーナー「円熟味」。当社で活躍するシニアとして、応援代務員の荒木正江さんが取り上げられました。26年に亘る勤務で培われた技術を今後も伝播いただき、さらなる活躍を期待しています！

2023年10月10日 月曜日 11月1日 11月1日

ユタコロジー クリーンクルー 荒木 正江さん

「あんなに楽しそう」
「裏方に徹する『黒子』、「きれい」で驚き提供

現出ごとの薪つかも感覚会得

人との出会いにやりがいと楽しさ

9/1防災訓練を実施

昨年に続き、ユタコロジー本社にて防災訓練を実施しました(参加12名)。お客様対応等で外出中の社員は安否確認での対応でした。

【訓練ポイント】

- ・当社内の稼働がピークになる平日午前8時20分を想定
 - ・クリーンクルーへテストメールを配信、有事の際の安否確認方法を確認
 - ・安全対策本部設置の訓練を今年から実施
- 来たる災害に備え、これからも安全を最優先に運営に努めてまいります。



ユニフォームリサイクル

当社では半年に一度、中古ユニフォームをリサイクルしています。

今後も環境への配慮を大切にまいります。

【リサイクルユニフォーム 総重量:15.3kg】

エプロン:18枚(旧型含む) /ズボン:10枚 /
半袖ポロ:13枚(旧型含む) 長袖ポロ:15枚 /
プール清掃用上下:1セット



椋山女学園大学産学協働プロジェクト

前号でも掲載した椋山女学園大学産学協働プロジェクト2023。

「働きながら輝く女性」をテーマに今年も学生が学びの機会として取材・インタビューを行っています。

11月の完成を目指してパンフレット&カレンダー鋭意制作中です。



FemtechTokyo2023へ 出展します

フェムテック、フェムケアに関する商品やサービスの展示会『FemtechTokyo2023』が、10月5日から3日間、東京ビッグサイトにて開催されます。

当社では年齢、性別に関係なく心身の健康をサポートする商品、アイテムを企画。本社外報巻頭対談(P1-2)でも触れた“ユタコロジーらしさ”を追求する事業として出展します。

